

2023年2月10日

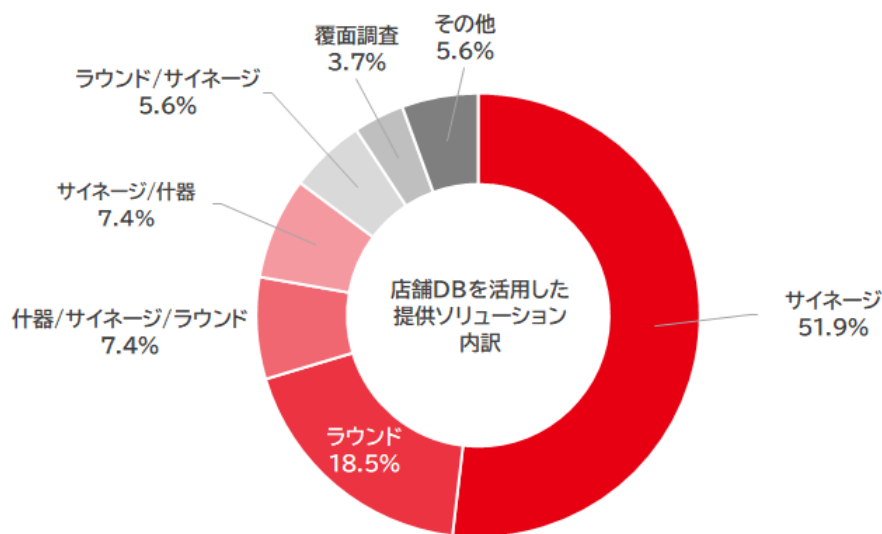
インパクトホールディングス株式会社（東証グロース・証券コード:6067）

2023年1月度 累計店舗DB提供数およびフィールド業務稼働件数のお知らせ

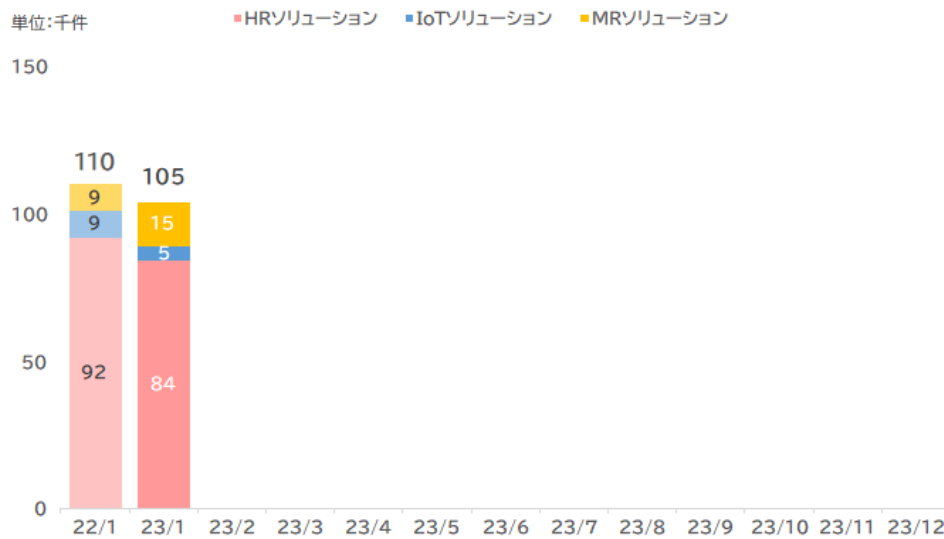
SDGs 販促を推進するインパクトホールディングス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：福井 康夫、東証グロース・証券コード:6067、以下「当社」）は、ラウンダー、推奨販売、デジタルサイネージ、覆面調査等のフィールドマーケティングサービスを全国で展開しており、累計1,000万件超の業務実績、店舗DBを蓄積しています。2023年1月度の累計フィールド業務稼働件数をお知らせいたします。

◆ 累計店舗DB提供数 概況

2023年1月度の店舗DB累計利用企業数は47社、プロジェクト件数は54件となり、店舗DBを活用した提供ソリューションの内訳は、サイネージが51.9%、ラウンドが18.5%、什器/サイネージ/ラウンド7.4%、サイネージ/什器7.4%の順に多い結果となりました。



◆ 累計フィールド業務稼働件数 概況



- HRソリューション事業は、大手電子決済サービス店頭ロゴマーク掲出、利用確認ラウンドや、販促物設置ラウンドを中心に稼働。
- IoTソリューション事業は、トイレ向け密回避IoTサイネージや販促用小型サイネージを中心に出荷。
- MRソリューション事業は、大手居酒屋チェーン・飲食店での覆面調査、また飲料メーカーのサンプリング調査の大型案件が稼働し、1.5万件稼働。

【注】

- ※ 案件により売上計上月が翌月、翌々月等になる場合もあり、稼働件数と売上計上月は連動していません。
- ※ 以前に比べ、提供ソリューションのラインナップが増加しており、ソリューションごとで1件あたりの単価が大きく変動いたします。そのため、稼働件数が多い場合でも売上への寄与度が小さかったり、稼働件数が少ない場合でも売上への寄与度が大きかったりする等、稼働件数と売上は連動していません。
- ※ あくまで参考データとしてご参照ください。

◆ 店舗DBとは

店舗DBとは、当社グループが創業期よりラウンダー、推奨販売、覆面調査等のフィールドマーケティング業務レポート、デジタルサイネージの出荷台数、オンラインサイネージから取得した棚前消費者行動等から収集した累計1,000万件超のデータに加え、地域経済分析システム「RESAS(リーサス)」や政府統計ポータルサイト「e-Stat(イースタット)」等のオープンデータ、企業の店舗情報を集約した独自のデータベースです。AI分析により無数の切り口を自動作成し、機械学習で切り口の優先順位付けを行い、効率良く施策の企画・立案、効率的かつ効果的な店頭販促企画を実施するための店舗を抽出することが可能です。

【本件に関するお問い合わせ】

インパクトホールディングス株式会社 広報担当
TEL:03-5464-8321 / E-mail:pr@impact-h.co.jp